

# 活動報告書

U-15

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U- 15	日時	5 月 27 日 9 : 00 ~ 14 : 00
担当	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)			会場	市原市立八幡中学校	
参加スタッフ	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)・山田(姉崎東中)					
テーマ	コミュニケーション・DFの対応					
指導方法						
ブロックトレセン交流会						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U-15	日時	6月24日 8:00 ~ 12:00
担当	野村 大介(千種中学校)			会場	有秋中学校	
参加スタッフ	野村(千種中学校)・鶴岡(八幡中学校)・山田(姉崎東中学校)					
テーマ						
指導方法						
トレーニングマッチ(市原中央高校)30分×6本						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U- 15	日時	8 月 8 日 9 : 00 ~ 12 : 00	
担当	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)			会場	市原市立千種中学校		
参加スタッフ	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)・山田(姉崎東中)						
テーマ	コミュニケーション・DFの対応						
指導方法							
市原市立千種中学校とのトレーニングマッチ							
25分 × 4本							
キーファクター							

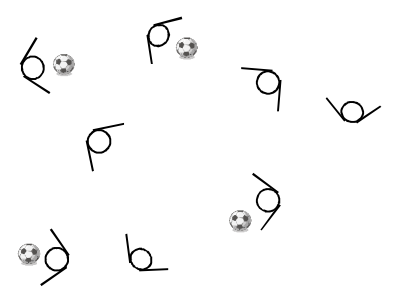
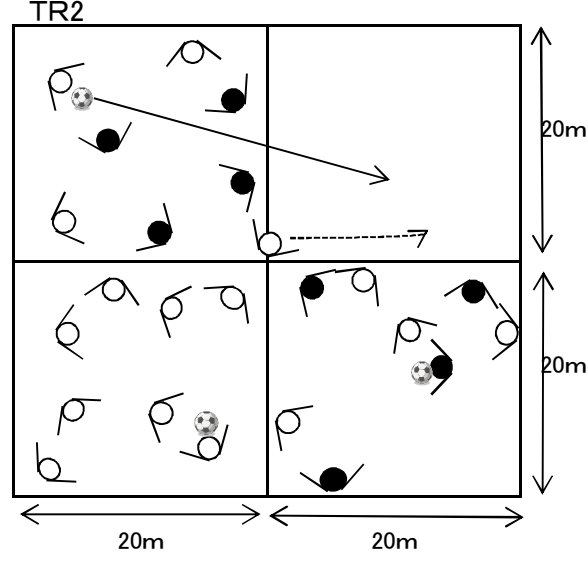
2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

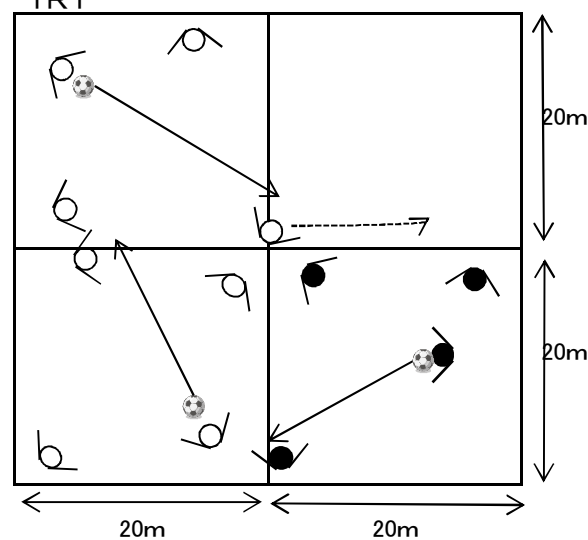
地区	第	1	ブロック	U- 15	日時	10 月 21 日 9 : 00 ~ 12 : 00
担当	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)			会場	市原市立若葉中学校	
参加スタッフ	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)・山田(姉崎東中)					
テーマ	コミュニケーション・DFの対応					
指導方法						
U-14 第1ブロックとのトレーニングマッチ  25分 × 3本				ブロックトレセン交流会  vs 小中体連県トレ		
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-15	日時	4月22日 8:30 ~ 12:0	
担当	井下田靖之				会場	長南町立長南中学校	
参加スタッフ	井下田靖之 白土俊幸 田中弘樹 小原洋平 八尋智志 椎原政文						
テーマ	ボールポゼッション						

### 指導方法

<p><b>W・UP</b></p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1 リフティング(5タッチ以内でボールの交換) ①インステップ, ②インサイド, ③ヘディング, ④フリータッチ ボールを持たない選手はランニング</li> <li>2 ボールを転がしながらの交換 ①3タッチ以内, 2タッチ以内, 1タッチ以内での交換 ②色々なシチュエーション(スイッチ, オーバー, ワン・ツー, 背後やギャップを狙った動きなど)のイメージをもたせ自由にパス交換</li> <li>3 ストレッチ</li> </ol>	<p><b>TR2</b></p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1 TR2にディフェンスをつけたパスゲーム 4対4で実施</li> <li>2 タッチ数を制限し負荷を上げる</li> </ol>
---	--

<p><b>TR1</b></p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1 4人組でグリッド内を動きながらパス交換</li> <li>2 空いているグリッドに仲間が動き出したところにボールを入れ、グループで次のグリッドに移動する。(2タッチ以下)</li> </ol>	<p><b>ゲーム</b> オールコートで11人制のゲームを行う。</p>
---	---

**キーファクター**

- 常に動きながらプレー(パス, コントロール, 観る) ●大きなアクション ●広がりをもつ
- スペースに動いてボールを受ける意識の向上 ●早く観る(観ておく), 観るものを増やす→状況の変化を感じる
- パスの出し手と受け手のタイミングを合わせる(パススピード, 動いている相手のスピード, いつ動き出すか)

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-15	日時	5月27日 8 : 00 ~ 15 : 00
担当	井下田靖之			会場	八幡中学校	
参加スタッフ	井下田靖之 白土俊幸 小原洋平					
テーマ	交流会					
指導方法						
交流戦の実施						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-15	日時	10月28日 8 : 00 ~ 15 : 00
担当	井下田靖之			会場	幕張総合高校	
参加スタッフ	井下田靖之 白土俊幸 小原洋平					
テーマ	交流会					
指導方法						
交流戦の実施  2ブロック VS 7ブロック(0-0) 3ブロック VS 7ブロック(0-2) 3ブロック VS 2ブロック(0-1)						



2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-15	日時	11月25日 8 : 00 ~ 15 : 00
担当					会場	市立松戸高校
参加スタッフ	井下田靖之 白土俊幸 椎原政文 小柴泰					
テーマ	交流会					
指導方法						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	日時	5月27日 10:30～15:00
担当	相馬(ACカラクテル)			会場	幕張総合高校グラウンド
参加スタッフ	齋藤,宮穂				
テーマ	ブロック交流戦				
	指導方法				
<p>今回のブロック交流戦は選手のモチベーションの向上や緊張感を持たせる為に、県トレセンの活動への吸い上げやがあることや支部への降格も含めて活動へ参加させました。</p> <p>ブロックもU15になるとモチベーションの低下の等が見られ、ただ試合をして帰るという重みのない活動になりがちなので基本的の事ではありますが選手には選ばれたメンバーという誇りと、向上心を持って取り組んでほしいという事を話してゲームに臨みました。</p> <p>プレー面では県トレセンとの交流戦もある為、攻撃に関しては選択肢を持つことはもちろん、攻守にわたって1対1の場面でも引くことなく個の力を引き上げる為または個人の力がどこまで通用するかをチャレンジするように求めて試合に臨みました。</p> <p>■vs県トレセンバックアップメンバー  前半2-2 岡澤(カラクテル) 松崎(カラクテル)  後半1-2 堀越(八日市場二中)  TOTAL 3-4 ★</p> <p>■vs5ブロックトレセン  前半1-0 宮内(大網中)  後半1-0 高橋(東金西中)</p> <p>◇試合後の課題  県トレセン、5ブロックに比べて選択肢が少ない(単純な判断ミス、ボールが持てない、止まらない、ヘットダウンして視野が狭い等)  止める、蹴るの選択肢も同様に少ない(パスの長短、強弱、トラップの質)  個人戦術やチーム戦術の理解度が少々低い(サポート角度、ポジションバランス、動き出しのタイミング)</p> <p>個々のストロングポイント(ドリブル、パス、スピード、テクニック、フィジカル)を持った選手はいるけれどパーフェクトスキルという意味では、まだまだバランスが悪い選手が目立つ。  対人の面はハードワークして相手の個の力にチームでも個人でも対応できていた。  ストロングポイントを磨くのはもちろん、ウィークポイントを鍛える必要性を感じる。  トレセン活動でのトレーニングだけでは補えないと思うが、選手個々に必要なトレーニングを紹介してあげることで自チームに持ち帰り鍛錬することを促したいと思います。</p>					
キーファクター					

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-15	日時	6月24日 10:30～14:00
担当	相馬(ACカラケテル)			会場	幕張総合高校グラウンド	
参加スタッフ	齋藤, 宮穂					
テーマ	ブロック交流戦					
	指導方法					

今回のブロック交流戦は選手のモチベーションの向上や緊張感を持たせる為に、県トレセンの活動への吸い上げやがあることや支部への降格も含めて再度話をして活動へ臨ませました。

この世代は県トレセンや中体連トレセンに選手派遣している数も多い中、志を持ってきてくれる選手が多い事が3ブロック地域の意識レベルが上がってきて入りことを象徴しているのではないと思っています。

■vs4ブロックトレセン

前半1-0 宮内(大網中)  
 後半1-0 小林(アルティスタ)  
 TOTAL 2-0 ☆

■vs6ブロックトレセン

前半1-0 小林(アルティスタ)  
 後半1-0 中野(アルティスタ)

◇試合後の課題

4、6ブロックに比べてどの場面でも同じプレーをしてしまう(攻め急ぐ、スピードを上げて奪われる)  
 ボールを奪った後の準備の遅さ(プレスの速さに面を食らう、自分のミスを少々怖がってしまった)  
 個人戦術やチーム戦術の理解度が少々低い(サポート角度、ポジションバランス、動き出しのタイミング)

◇改善点

ボール保持をする意識をいずれも後半に修正できた。  
 ボールに対する守備の寄せを早く強く修正できた。

次回のトレセン優先日や交流戦であってもできるだけ前回の課題に沿ったトレーニングをいれてプレーの質を向上させてあげたいと思います。

キーファクター

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-15	日時	10月28日 10:30～14:00
担当	相馬(ACカラクテル)			会場	幕張総合高校グラウンド	
参加スタッフ	宮穂, 齋藤, 相馬					
テーマ	ブロック交流戦					
	指導方法					
<p>7ブロック, 2ブロックとの交流戦でした。          3ブロックが意識してウォーミングアップで意識して行ったトレーニングはボールを落ち着いて保持することでした。          ゲーム前にもそのコンセプトを話して臨んだゲームでしたが、7ブロックの対人能力の高さに自分達の間合いを保てず          ことごとくボールを失う場面が多く、判断やサポートも含めて大きな課題が残りました。</p> <p>2ブロックとのゲームでは相手のプレス強度も高くなかった為、そこそこのボール保持は出来たもののゴールへ向かう          意識が低く効果的な攻撃は影を潜めました。          次回で交流戦がラストになりますが、トレセン活動では、普段出来ない事にトライさせる環境を作って          選手に違う角度から感じたり、発見してその経験を活かして今後に繋げてくれるよう導きたいと思います。</p>						
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-15	日時	11月25日 10:30～14:00
担当	相馬(ACカラクテル)			会場	幕張総合高校グラウンド	
参加スタッフ	宮穂,川名,齋藤,相馬,齋藤					
テーマ	ブロック交流戦					
	指導方法					
<p>8ブロック,U14県バックアップメンバーとの試合でした。          前回の交流戦時に前の意識の欠如からすぐ後ろを向いてしまう選手、あるいは前にしか進めない選手、サイドバックに関しては何も考えずに低い位置でボールを受けてプレスにハマってしまうという現象が多々見られた為、今回試合前に選手に意識させた事は相手陣地でプレーする為に、よりサイドバックの選手を高く保ち、ボールを保持するという事と、いかに前を向いて効果的なプレーするかという事でした。          U14県トレセンとのゲーム前半では前回と同様の課題が目立ちましたが、後半出場のメンバーには外から見ていて感じる事があったようで前を向く為の前線選手のポジショニングや相手陣地に侵入する為のドリブルやサイドバックのポジショニングの改善が見られました。          8ブロックとのゲームでは相手のチームとしての完成度、フィジカル、球際の強さ、プレス強度の高さで潰され失点する場面も目立ちましたが、積極的にトライした結果、前を向いてプレーした時の相手との間合いの甘さや、技術不足が良い意味で浮き彫りになりました。          今年度他ブロックとの交流戦にて私の考えとして選手に経験してほしい「トレセンならではの経験」ですがチームで求められることより、「選手が上手くなる」為の少々リスクを冒しても目をつぶりトライさせるという事でいつもとは違った視点で自らの課題や成長を感じる事が少なからずできたのではないかと感じております。</p>						
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-15	日時	12月16日 12:30～16:00
担当	相馬(ACカラクテル)			会場	幕張総合高校グラウンド	
参加スタッフ	川名,齋藤,相馬					
テーマ	ブロック交流戦					
	指導方法					
<p>受験時期にも関わらず、30名の選手が集まり紅白戦を行いました。  活動の趣旨としては、受験期のコンディション低下をなるべく避ける為であったり、この時期に好きなサッカーで心身ともにリフレッシュでした。  チーム編成はクラブ支部、東総支部、山武支部で丁度良く1チームずつ組めたので3チームの三つ巴で行いました。  内容、課題としましては、クラブの選手のアイディア、選択肢の多さ、中体連の選手のゴールへ向かう力とお互いに特徴を出し合っていました。が、一長一短という形でクラブのフィニッシュへの意識の欠如や中体連選手の人を使う選択や情報収集能力の欠如は感じることはありませんでした。  この育成年代においていろいろなトレーニングから様々な長所を持てるように我々指導者が凝り固まった考えではなく「良いものは良い」と色々な事を吸収し選手に伝えていかなければいけないという事を改めて感じました。</p>						
<p>キーファクター</p>						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-15	日時	2月23日 11:30～16:00
担当	相馬(ACカラクテル)			会場	成東総合運動場	
参加スタッフ	宮穂, 齋藤, 相馬					
テーマ	U14BTC&U15BTC-A&U15BTC-Bトレーニングマッチ					
	指導方法					
<p>受験時期にも関わらず、30名の選手が集まり紅白戦を行いました。活動の趣旨としては、受験期のコンディション低下をなるべく避ける為であったり、この時期に好きなサッカーで心身ともにリフレッシュする事とこれからユース年代に入るまえに如何に楽しく伸び伸びプレーさせられるかがテーマでした。</p> <p>内容に関してはU14相手には身体能力差で自由にプレー出来ていました。課題としましては、個性的なプレーの良さがある反面、丁寧にしっかりプレーする意識に欠けている選手が目立ちました。ただ、1年間の活動を通して、自チームやトレセン活動等、様々な経験から選手達は見違えるように成長したと感じました。</p>						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-15	日時	4月22日 13:00 ~ 17:00
担当	内田 健一(ルキナス)			会場	白井高校	
参加スタッフ	内田、水戸、菅又					
テーマ	選考会					
指導方法						
<p>選考会  希望ポジションを考慮し、ランダムに3チームに分ける。  4ブロックU-14と試合形式にて選考。  22名選考</p>						
<p>キーファクター</p> <p>コミュニケーション・技術(止める、蹴る、運ぶ)・判断</p>						



2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-15	日時	5月27日 8 : 00 ~ 15 : 00
担当	内田 健一(ルキナス)			会場	白井高校	
参加スタッフ	内田、西出、菅又					
テーマ	千葉県U-15ブロックトレセン交流会					
指導方法						
千葉県U-15ブロックトレセン交流会 2ブロック VS 4ブロック 4ブロック VS 1ブロック 他、各ブロックとトレーニングゲームを30分×2本行った。						
キーファクター コミュニケーション(プレーの要求)、インフォメーション(情報交換)						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-15	日時	6月24日 8 : 00 ~ 14 : 00
担当	内田 健一(ルキナス)			会場	幕張総合高校	
参加スタッフ	内田、西出、菅又					
テーマ	千葉県U-15ブロックトレセン交流会					
指導方法						
<p>千葉県U-15ブロックトレセン交流会</p> <p>4ブロック VS 6ブロック</p> <p>3ブロック VS 4ブロック</p>						
<p>キーファクター</p> <p>コミュニケーション(プレーの要求)、インフォメーション(情報交換)</p>						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-15	日時	7月16日 10:00～15:00
担当	内田 健一(ルキナス)			会場	船橋北高校	
参加スタッフ	内田、西出、菅又					
テーマ						
指導方法						
船橋北高校U-16とトレーニングマッチ						
<p>キーファクター</p> <p>コミュニケーション(プレーの要求)、インフォメーション(情報交換)</p>						



2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

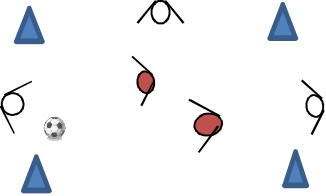
地区	第	4	ブロック	U-15	日時	10月28日 8 : 00 ~ 14 : 00
担当	内田 健一(ルキナス)			会場	市立松戸高校	
参加スタッフ	内田、西出、菅又					
テーマ	千葉県U-15ブロックトレセン交流会					
指導方法						
<p>4ブロック vs 8ブロック</p> <p>4ブロック vs 5ブロック</p>						
<div style="display: flex; height: 300px;"> <div style="flex: 1; border-right: 1px solid black;"></div> <div style="flex: 1;"></div> </div>						
<p>キーファクター</p> <p>コミュニケーション(プレーの要求)、インフォメーション(情報交換)</p>						



## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	日時	4月22日 8:30 ~ 12:00
担当	佐々木 剛			会場	千葉市立大椎中学校
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間				
テーマ	1年間の確認、コンセプトの確認				

### 指導方法

<p>1、 w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョギング</li> <li>・ストレッチ</li> <li>・3色鬼ごっこ (3色に分け、色ごとに追いかける鬼を決めて行う。)</li> <li>・2人組のグルーピング 2人組でリフティング ボールをパスしたら違うグループの所へ行き 2人組のリフティングを行う。</li> <li>・ストレッチ</li> </ul>	<p>2、 TR1 ヘディング練習</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p>①二人組を作り、最初はジャンプし手で捕る ②ジャンプしヘディングで返す。</p> <p>一番高いところでキャッチ、ヘディングすることを意識して行う。</p>
--	---

<p>3、 TR2 3VS2</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>5、 ゲーム 10人×3チームで総当たり</p> <p>・新規加入選手もいるので、3つのコンセプトを意識し交流戦に向けて選手選考を行う。 &lt;コンセプト&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①マイボールを失わない</li> <li>②前が空いたら仕掛ける</li> <li>③パスカットを狙う。</li> </ol>
---	--

<p>・ボール保持者はファーストタッチと体の向きを意識する。 ・フォロワーは常にパスコースを2つ作り、ボールを失わないようにする。</p>	<p>4 TR2 シュート練習</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p>①ダブルタッチからシュート ②リターンパスをもらってからシュート</p>
---	---

キーファクター

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-15	日時	5月27日 8:00 ~ 14:00	
担当	佐々木 剛				会場	千葉県立幕張総合高等学校	
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間						
テーマ	守備時のボールの奪い方、攻撃時のボールの回し方						
指導方法							
1、 w-up  ・ジョギング ストレッチ ヘディング 鬼ごっこ 4対2 シュート				<p style="text-align: center;">ゲーム</p> 第3ブロックトレセン     30分×2 千葉県トレセン             30分×2			
				<p>今年最初の交流戦となり、新規加入選手もいたため守備時も攻撃時も連携がうまくとれない場面が見られた。ハーフタイムや試合中に声をかけ、守備時のボールの奪い方、攻撃時のボールの回し方をその都度確認しながら行った。</p> <p>①守備時は後ろから声をかけ、マークにしっかりとつくこと、ボールがある場所を起点にどこにポジションをとるか。</p> <p>②攻撃時はボールの受け方、ポジショニングの確認</p> <p>特にこの2つを徹底し、ゲームに臨んだ。</p> <p>また、2種年代に向けて、声を使い「コミュニケーション」を積極的にとることを意識していこうと伝えた。</p>			
キーファクター							

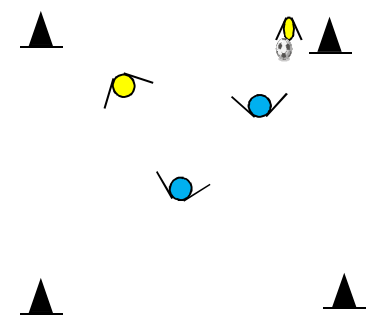
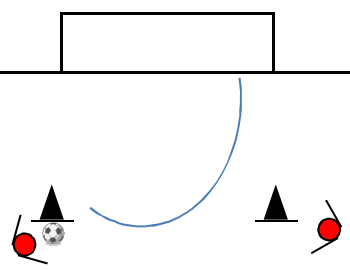
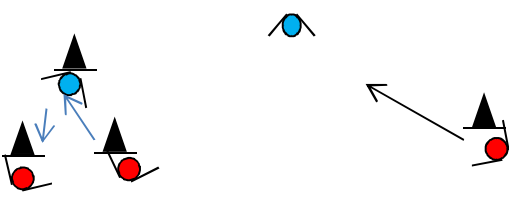
## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-15	日時	6月24日 8:00 ~ 14:00	
担当	佐々木 剛				会場	市立松戸高校	
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間						
テーマ	守備時のボールの奪い方、攻撃時のボールの回し方						
指導方法							
1、 w-up  ・ジョギング ストレッチ ヘディング練習 鬼ごっこ 4対2 シュート				<p style="text-align: center;">ゲーム</p> 第7ブロックトレセン 30分×2 第1ブロックトレセン 30分×2  総合体育大会前で、なかなか選手も集まらず前回の交流戦からあまりトレーニングもできない状況で臨んだ。新しいことは求めず、前回の交流戦に引き続き、守備時のボールの奪い方、攻撃時のボールの回し方の2点に絞り試合を進めていった。 ①守備時は後ろから声をかけ、マークにしっかりとつくこと、ボールがある場所を起点にどこにポジションをとるか。 ②攻撃時はボールの受け方、ポジショニングの確認 理解力も高く、チーム全体で意識して行おうという意味が見られ、前回よりも良いゲーム内容であった。また「コミュニケーションをとる」という面でも少しずつ改善			
キーファクター							

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-15	日時	7月28日 14:30 ~ 17:00	
担当	佐々木 剛				会場	フクダ電子スクエア	
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間						
テーマ	チャレンジ&カバー、ボールを失わずゴールへ向かう。						

### 指導方法

<p style="text-align: center;">W-up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョギング</li> <li>・リフティング</li> <li>①一人で</li> <li>②二人で</li> <li>③2タッチで</li> <li>④ハーフコートの往復</li> <li>・バー当て</li> </ul> <p style="text-align: center;">2 TR1                  ロングキック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インステップ</li> <li>・アウトサイドキック</li> </ul>	<p style="text-align: center;">3 TR2                  2VS2</p>  <p>OF 相手DFのギャップをつき、抜け出す。 ボール保持者ではない選手の動き出しを意識。</p> <p>DF ファーストDFの体の向きとボールへの寄せ方 カバーリング選手の指示とポジショニングを意識</p>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルタッチから</li> <li>・ファーサイドを狙う</li> </ul>	<p style="text-align: center;">4 ゲーム                  11VS11 15分回し</p> <p>守備では今日のトレーニングで行った、チャレンジ&amp;カバーを特に意識させ、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①声をかけ合うこと</li> <li>②ボールの動きに対して、連動してチームで動き出すこと</li> </ol> <p>を試合前に伝えた。</p> <p>今回の紅白戦が浜松遠征のメンバー選考であることを伝えると、選手のモチベーションも上がり、有意義なゲームとなった。</p>
 <p style="text-align: center;">サイドからのクロス→シュート</p>	

### キーファクター

3つのコンセプト(マイボールを失わない、前が空いたら仕掛ける、パスカットの狙う)  
守備のボールの奪い方の徹底



## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-15	日時	10月28日 8:00 ~ 14:00
担当	佐々木 剛			会場	市立松戸高等学校	
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間					
テーマ	守備時のボールの奪い方、攻撃時のボールの回し方					
指導方法						
1、 w-up  ・ジョギング ストレッチ ヘディング 3色鬼ごっこ 4対2 シュート				<p style="text-align: center;">ゲーム</p> 第8ブロックトレセン 30分×2 第4ブロックトレセン 30分×2		
				<p>部活動を引退し、サッカーを行う場 面がトレセン活動のみという状況で、体 力面や技術面、精神面でやや不安なと ころもあり、全体的に低調なパフォー マンスであった。また進路に専念した という選手も数人おり、まとまった活 動も人数も確保できていない。</p> <p>第4ブロックとの対戦では、守備に 関しては5月からずっと取り組んできた 成果が見られ、全体を通してうまく守 備ができた。第8ブロックとの対戦 では相手の早い動きだしに対処できず 、何本も裏をつかれ失点が多かった。 攻撃に関しては技術的なミスでボール を失う場面が非常に多かった。</p> <p>マークの受け渡し、オフザボールの準備</p>		
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-15	日時	11月25日 8 : 0 ~ 14 : 00	
担当	佐々木 剛				会場	市立松戸高校	
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間						
テーマ	守備時のボールの奪い方、攻撃時のボールの回し方						
指導方法							
1、 w-up  ジョギング ストレッチ ヘディング 対面パス 4対2 シュート				<p style="text-align: center;">ゲーム</p> 第2ブロックトレセン 30分×2 第6ブロック 30分×2  最後の交流戦であり、京都遠征に向けての選手選考の場でもあった今ゲームは、3年間継続してきた3つのコンセプトと今年取り組んできた守備時のボールの奪い方をテーマとして行った。 守備に関しては、毎回のトレーニングで何回も確認、修正を図ってきたので、ボールの場所を起点に選手同士がスムーズに動くことができてきた。攻撃に関しては、オフザボールの動きで相手の背後、逆をつくこと、ボールを早く動かすことを伝え、前回の交流戦に比べ、ゴール前に侵入する場面が増えた。 中体連のトレセン活動で、毎年課題となるのが部活動を引退した後の活動をいかに継続させるかということである。体			
キーファクター							

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-15	日時	12月16日 8 : 30 ~ 13 : 0	
担当	佐々木 剛				会場	中田球技場	
参加スタッフ	佐々木、丸山、後藤、宍戸、毛利、本間、						
テーマ	コミュニケーションの向上・マイボールを失わない。						
指導方法							
W-up  ジョギング ストレッチ ヘディング 対面パス 4対2 シュート				ゲーム 2、 TR1 U-14とのマッチ  京都遠征メンバーとU-14の岐阜遠征メンバーでマッチを行った。コンディションに不安を抱えたまま臨んだが、体格差、技術差ではやはりU-15に分があり、何度もゴール前に侵入する場面があった。ただ、残り10分を過ぎると体力が著しく下がり、危ない場面も多かった。 約一週間後に、京都に向けて出発をするが3年間取り組んだ成果を発揮し、良い結果を残して千葉に戻ってきたい。選ばれたメンバーのモチベーションも非常に高く、楽しみである。			
キーファクター							

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-15	日時	5月27日 9 : 30 ~ 15 : 00	
担当	新井 雅也 (FC習志野)				会場	八千代高校	
参加スタッフ	新井 (FC習志野)、中沢 (習志野一中)、本田 (高根台中)						
テーマ							
<b>指導方法</b>							
交流戦 vs 7ブロック vs 8ブロック				攻撃でのバリエーションやサポート が少ないので、次回への課題			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-15	日時	6月24日 8:00 ~ 15:00
担当					会場	八幡中学校
参加スタッフ	井下田靖之 白土俊幸 小原洋平					
テーマ	交流会					
指導方法						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-15	日時	6月24日 9 : 30 ~ 15 : 00	
担当	新井 雅也 (FC習志野)				会場	幕張総合高校	
参加スタッフ	新井 (FC習志野)、中沢 (習志野一中)、本田 (高根台中)						
テーマ	ボールを持っている選手のサポート						
指導方法							
交流戦 vs 4ブロック vs 3ブロック				前回のサポートの遅さを改善はできたが、今後は1対1のディフェンスがおろそかになったので次回への課題。			
キーファクター							

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-15	日時	10月28日 9 : 30 ~ 15 : 00	
担当	新井 雅也 (FC習志野)				会場	八幡中学校	
参加スタッフ	新井 (FC習志野)、中沢 (習志野一中)、本田 (高根台中)						
テーマ	1対1のディフェンス						
指導方法							
交流戦 vs 県トレセン vs 中体連選抜				前回の課題は改善され、次のステージが楽しみ			
キーファクター							

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-15	日時	11月25日 9 : 30 ~ 15 : 00	
担当	新井 雅也 (FC習志野)				会場	市立松戸高校	
参加スタッフ	新井 (FC習志野)、中沢 (習志野一中)、本田 (高根台中)						
テーマ	2種に向けて						
指導方法							
交流戦 vs 5ブロック vs 2ブロック				交流戦最後なので、選手にアップからメンバー 選びまでやらせ、リーダーシップを見ました。			
キーファクター							



## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-15	日時	5月27日 10:00～15:00
担当	高梨 剛			会場	八千代高校	
参加スタッフ	高梨 剛、櫻井 健丞、袴田 倫					
テーマ	交流戦					
指導方法						
<p>vs第6ブロック 2-2 vs第8ブロック 0-1</p> <p>第6ブロック、第8ブロックとの交流戦を行った。 第7ブロックの選手は、交流ということで20名の選手に絞って臨んだ。クラブチーム所属の選手が16名、中体連所属の選手が4名という状況である。 昨年度からの活動で、お互いの力や特徴などはある程度つかめているようである。しかし、試合中のコミュニケーションの部分では少し物足りなさを感じた。この活動からさらに上のカテゴリーを目指そうという意識がもっとほしかった。 試合では、個の技術と判断の育成を目標として活動している。 試合の中で、ミナトの浮田選手など技術、能力的に高い選手を中心に局面を打開し、サイドからチャンスが多く作れた。しかし、ディフェンスはコミュニケーション不足から不用意な失点をしてしまった。ボールコントロールに自信がある選手が多いので、できるだけ高いレベルでの選手間のコミュニケーションを取れるように指導に当たりたい。</p>						
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-15	日時	6月24日 8:00～16:00
担当	高梨 剛			会場	市立松戸高校	
参加スタッフ	高梨 剛、櫻井 健丞、袴田 倫					
テーマ	交流戦					
指導方法						
<p>vs 第5ブロック 0-1 vs 第1ブロック 5-1</p> <p>前回の活動で上がったコミュニケーション不足という点は、W-upを兼ねたトレーニングで選手間のコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>試合に入っていると、お互いのプレーに対して、どうしたい、こうしてほしいという声がかかるようになってきた。その結果、2試合目の第1ブロックの試合では、レイソル野田の遠藤選手を中心に中盤からの多くの選手が善戦に絡み、チャンスを作ることができた。FWもそのチャンスを確実にものにすることができた。</p> <p>課題として残ったことは、中盤でのプレッシャーの弱さが見られた。攻撃でのチャレンジは積極性を増したが、ディフェンスの前回に引き続き、向上心という部分をもっとほしかった。ここでプレーできていることに満足している選手も見られる。貪欲にプレーし、スタッフにアピールしてほしいということを伝えた。次回の活動につなげていきたい。</p> <p>今回の活動では、また交流戦とは別に練習組を集めて、セレクションを行った。交流戦組と入れ替えを行うことで、より多くの選手に機会を与えることと交流戦組の向上心をあおるためである。その結果、伸び盛りにある選手を発掘することができ、次回の交流戦組に招集しより多くの機会を与えることにつながった。</p> <p>また、先月動きの良かったミナトの浮田選手を県トレセンに推薦した。このことでブロックトレセンでアピールすれば、上に上がることができるということで他の選手の意欲もより高めていくことも狙いとして行った。</p>						
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-15	日時	10月28日 8 : 00 ~ 14 : 00
担当	高梨 剛			会場	幕張総合高校	
参加スタッフ	高梨 剛、櫻井 健丞、袴田 倫					
テーマ	交流戦					
指導方法						
<p>vs 第2ブロック 0-0 vs 第3ブロック 2-0</p> <p>前回行ったセレクション活動でメンバー3名の選手を加えて臨みました。 試合は前回の反省であったプレッシャーの弱さの部分については、立ち上がりからしっかりと行うことができた。新しく加わった選手も自分をアピールするため、長所を活かしたプレーを見せてくれた。しかし、1試合目の第2ブロックのセンターバックの選手はフィジカルと身体能力が高く、前に急ぐ単調な攻撃は完全に防がれてしまった。プレーの選択肢にもっとアイデアを持っていないと、ディフェンスのレベルが上がれば予測されてしまう。選手にブロックトレセンの交流会の中でこのことを経験できたことは非常に良かった。</p> <p>また、前回の活動でパフォーマンスの良かったレイソル野田の遠藤選手を県トレセンに推薦した。先月に引き続き、県トレセンに選手を推薦できたことで、他の選手のさらなる意欲喚起につながった。</p>						
キーファクター						

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-15	日時	11月25日 8:00～14:00	
担当	高梨 剛			会場	市原市立八幡中学校		
参加スタッフ	高梨 剛、櫻井 健丞、袴田 倫						
テーマ	交流戦						
指導方法							
<p>vs 県トレセン 4-1 vs 県中体連トレセン 2-1</p> <p>今回の試合内容は、攻撃に関しては非常に良い部分が表れていた。レイソルトORの押尾選手を中心に中盤から局面で個人の技術を発揮したり、選手同士が流動的に動き、チャンスを作っていた。立ち上がり早々に得点できたことで選手が球ぎわで焦らず、余裕を持ってプレーできたことも大きかった。守備でも、試合の終盤までしっかりとしたプレスとカバーリングができており、失点はしたもの集中を切らさずにプレーすることができた。</p> <p>ブロックトレセン交流戦の最後に県トレセンとできるということがあり、選手も県トレセンに食らいついていくという気持ちを持って、プレーすることができた。この試合の為に、高いモチベーションを作り活動できたことは大きく、この日のパフォーマンスにつながったと思われる。</p> <p>今年度の活動は、ブロックトレセン交流会を中心に活動を行ってきた。その中で、他ブロックでのうまい、強い選手と経験を積むことで、個人の技術や判断を磨くことにつながったと考えている。ゲームは勝ちにこだわったサッカーをするわけではないので、どのようなプレーを選択するのかは個人に任じた。このことで普段チームでは、負けないようにボールを奪われないようにということを中心にプレーする選手も、いろいろなアイデアを試すことができたのではないかと思われる。しかし、その反面、ディフェンス面でボール際を粘り強くすることが弱かったと感じる。チームで負けたくない、勝ちたいと思いプレーしている選手も、この活動で勝ち負けにこだわらなかったことで全体として守備面が甘くなってしまったと感じた。活動の仕方として、課題を残す結果となってしまった。選手間の競争意識をもっと持たせることができれば、このような事態も防げたのではないかと思う。より多くの選手に良い機会を与え、選手同士を競わせ、向上できるような活動を行っていくことが今後の課題である。</p>							
キーファクター							

2012 CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8	ブロック(U-15)	日時	4月22日 8:00 ~ 12:00
担当	湯浅 一彦(富岡中)		会場	市川市立高谷中学校
参加スタッフ	西川 正剛(高谷中)、松尾 昭一(福栄中)、清原 諭高(市川六中)、湯浅 一彦			
テーマ	高校生とのトレーニングマッチを通して、判断力を養う。			
指導方法				
東京学館浦安高等学校の1年生とトレーニングマッチ				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分ゲーム × 6本</li> <li>・DF4-MF4-FW2 中盤はダイヤモンド</li> <li>・DFラインの組み合わせ、FWの組み合わせを適宜変更しながら、ゲームを実施。</li> <li>・相手の早いプレッシャーに動じず、ぎりぎりの段階で、どう判断できるかというテーマでゲームを行った。</li> <li>・選択肢を多くもちながらプレーするということは昨年のU-14までで取り組んできていたのでボールを保持し過ぎず、球離れを早くしながらプレーすることはできてきている。</li> <li>・DFの真ん中2枚にはチャレンジ&amp;カバーの意識を強くもつように指導したが、カバーに行かずに、人任せになってしまう場面があったので、適宜助言を行った。</li> <li>・サイドバックのオーバーラップが効果的に行われ、相手のDFを広げることに成功した。</li> </ul>				
キーファクター				
・判断力				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-15	日時	5月27日 11:00 ~ 15:30	
担当					会場	千葉県立八千代高等学校	
参加スタッフ	松尾昭一(福栄中)、清原諭高(市川六中)、湯浅一彦(富岡中)						
テーマ	ポジショニング・コーチングによる連携・運動						
<b>指導方法</b>							
<p>・4-4-2(中盤ダイヤモンド)がベース。</p> <p>① 第7ブロック 対 第8ブロック</p> <p>② 第6ブロック 対 第8ブロック</p> <p>他のブロックとの試合なので、コミュニケーションをとることが不可欠な状況。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>GK→DF→MF→FWと1列前に対する適切なコーチング。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>DFラインのスライドやマークチェンジの連携・運動。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>課題としては、DF面ではコーチングが機能したが、OF面では、個の突破になりがちだった。</p>				<p>①、②のゲームとも相手チームの前線に早さがあり、テーマのコーチングを試すには格好の機会だった。</p> <p>次の交流戦では、中体連選抜と対戦するので、ブロックにはクラブ所属の選手が多いので、良い経験の機会にしていきたい。</p>			
<p><b>キーファクター</b> ポジショニング、コーチング、運動</p>							

## 2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	日時	6月24日 8:30 ~ 14:0						
担当	U-15トレセンリーグ			会場	市原市立八幡中学校						
参加スタッフ	松尾昭一(福栄中)、清原諭高(市川六中)、湯浅一彦(富岡中)										
テーマ	オフザボール時の状況判断、ファーストタッチの重要性、プレー判断の選択肢を増やす										
<b>指導方法</b>											
<p>U-15トレセンリーグ 2回目 @八幡中(市原市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフザボール時の状況判断</li> <li>・ファーストタッチの重要性</li> <li>・プレー判断の選択肢を増やす。</li> </ul> <p>上記の3点をテーマに交流試合を行った。</p>				<p>1試合目 第8ブロック 対 県トレセン</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>前半</td><td style="text-align: right;">2 - 0</td></tr> <tr><td>後半</td><td style="text-align: right;">1 - 0</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">3 - 0</td></tr> </table> <p>前半から相手陣地に押し込み、優勢に展開した。特にボランチ、サイドハーフ、トップの選手はオフザボール時にルックアップしながら周囲の状況を確認できていた。しかし、せっかく入れたクサビのパスもボールタッチに集中を欠き、失う場面もしばしばあった。課題としては、フリーでオーバーラップをしたサイドバックを安易に使わずに、中を選択した時に球出しが遅くなり、DFの網にかかってしまうことがあった。</p>		前半	2 - 0	後半	1 - 0	合計	3 - 0
前半	2 - 0										
後半	1 - 0										
合計	3 - 0										
<p>2試合目 第8ブロック 対 県中体連トレセン</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>前半</td><td style="text-align: right;">0 - 1</td></tr> <tr><td>後半</td><td style="text-align: right;">1 - 1</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">1 - 2</td></tr> </table> <p>前半から相手の早いプレッシャーに苦しみ、縦へのボールを入れさせてもらえなかった。また、ギャップに顔を出しても、トラップに正確性を欠き、ことごとくセカンドボールを拾われた。こういう状況下で、選択肢を多くもつためには、頭の回転をより上げる必要があると選手自身が身をもって感じていたようである。状況判断を要するゲームとしては、クラブ所属の選手が多い中で、中体連の声・気迫・プレッシャーを体感できたことは本当に有意義なものであった。</p> <p>課題としては、状況判断のスピードアップと選択肢を選ぶ判断の早さ、ボールを保持する為のファーストタッチの重要性が再認識された。</p>				前半	0 - 1	後半	1 - 1	合計	1 - 2		
前半	0 - 1										
後半	1 - 1										
合計	1 - 2										
<p><b>キーファクター</b></p> <p style="text-align: center;">・状況判断 ・敵、味方の位置把握 ・トラップ ・プレー選択の判断力</p>											

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8	ブロック	U-15	日時	8 月 5 日 8 : 30 ~ 12 : 00
担当	第8ブロック			会場	市川市立福栄中学校
参加スタッフ	清原諭高(市川六中)、松尾昭一(福栄中)、湯浅一彦(富岡中)				
テーマ	パススピード、“シュートの意識”				
指導方法					
<p>毎年、第8ブロックトレセンの中から8月中にブラジル遠征を行っている。引率は市川市立第七中学校立岡教頭と市川市サッカー協会だが、トレーニングはブロックトレセンで行っている。</p> <p>立岡先生は長年市川トレセン、ブロックトレセンに従事してきた方で、90年から毎年トレセンをブラジルに連れて行っている。その中で、毎年ジーコ本人から助言されることとして、「日本人のシュート意識の低さ」が第一にあるそうです。ですので、遠征の前のトレーニングとして、「パスの早さ」と多少強引にでも「シュートを打つ」ことをテーマに</p>			<p>トレーニングを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョグ～ストレッチ～ラダー</li> <li>・ボールタッチ、対人パス、スクエアパス</li> <li>・1対1ボールキープ、2対2、4対4(パスゲーム)</li> <li>・オフENS2対ディフェンス3の対人(シュートまで)</li> <li>・11対11のゲーム</li> </ul> <p>2対2、4対4、ゲームでは正確さ以上に“早いパス”を意識するようコーチングした。</p> <p>2対3、11対11では完全に相手を抜ききっていても、バイタルでコースが見えたら強気で打つように声を掛けた。</p>		
<p>キーファクター</p> <p>“パススピード”、“シュート意識”というテクニカルなことというよりは、基本的なことをテーマに行った。</p> <p>“シュートの意識”が高まることで得点の増加や、プレーの選択肢が広がることを意識させた。</p>					



2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U- 15	日時	8 月 11 日 9 : 00 ~ 15 : 00	
担当	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)			会場	スポレクパーク		
参加スタッフ	野村(千種中)・鶴岡(八幡中)・山田(姉崎東中)						
テーマ	コミュニケーション・DFの対応						
指導方法							
市原招待サッカー大会 vs 県立千葉高校  30分 × 2本				市原招待サッカー大会 vs 県立市原緑高校  30分 × 2本			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8	ブロック	U-15	日時	10月28日 8 : 0 ~ 13 : 30
担当	第4ブロック			会場	市立松戸高等学校
参加スタッフ	松尾昭一(福栄中)、清原諭高(市川六中)、湯浅一彦(富岡中)				
テーマ	U-13より培ってきたチームとしての戦い方の集大成①				
指導方法					
<p>中体連、クラブとも公式戦を全て終え、所属チームを引退している選手が増えてきていた。また、高校見学や模試、検定といった理由での欠席も多く、26名招集の内、17名のみの参加となった。それでも他の4、5ブロックと比べると多い人数で、4ブロックに至っては8名しかおらず、第8ブロックから全ての試合に3名貸し出すといった状況であった。5ブロックも人数は13、4名程度だった。そうした状況下で、少しは顔ぶれも変わったが、大部分はU-13の頃より一緒にプレーしてきたチームなので、今回と11月の2回で、3年間のトレセン活動の集大成にしよう、という話をしてゲームを行った。前述のように、4ブロック、5ブロックとも人数が少なく、両チームとの試合は二桁に届かんばかりの大味なゲームになってしまった。その中でも、決めるところを確実に決める点や、トッパ下・ボランチを経由してサイドを変えながら攻める戦い方は、1年次より</p>			<p>おそらく11月末の優先日の活動も、どのブロックも人数がままならないまま行われるものと思料する。10月の活動時にも、複数の選手が決定した進路先の報告に来た。U-13より継続して見てきた選手なので、2種年代での更なる活躍を期待して止まない。その為にもあと1回のトレセン活動(交流会)のゲームは、3種年代のトレセン活動の総括として、今までの活動を振り返るとともに、ケガのないように配慮しながら、サッカーを楽しませて終わりたい。この交流会自体についても、ブロック内のスタッフで賛否両論様々な意見交換が行われている。それについては、各ブロックのU-15スタッフが集まる場に持っていく、来年度以降に向けた反省材料として報告したい。</p>		
キーファクター					

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-15	日時	11月25日 8:30～13:00	
担当	第8ブロック				会場	千葉県立幕張総合高等学校	
参加スタッフ	清原諭高(市川六中)、松尾昭一(福栄中)、湯浅一彦(富岡中)						
テーマ	ファーストタッチの重要性、状況判断、ダイレクトプレーなど3年間のトレセン活動の集大成						
指導方法							
<p>U-13の頃より、同じスタッフで3年間第8ブロックトレセンとして活動してきた、今回が最終日だった。13、14を経てメンバーの入れ替えもあったが、ほとんど13から見ているメンバーだったので、基本としている4-4-2の陣形の中で、様々なポジションを経験し、個々のプレーの幅が広がったように見受けられる。そして、「トレセン」ではあっても、変わらないメンバーで活動してきたので、最終日の今日のゲームは、状況判断に優れたダイレクトプレーで良い連携を見せていた。ファーストタッチの球の置き所は個々の課題として、2種</p>				<p>年代での克服課題としてほしいと思う。</p> <p>11月25日(日)対U-14県トレB</p> <p>・前半0-1 後半5-0 合計5-1で勝利</p> <p>11月25日(日)対第3ブロックU-15</p> <p>・前半4-0 後半3-1 合計7-1で勝利</p> <p>2試合とも、自分と周囲の「状況判断」、その状況判断に基づいたダイレクトプレーで相手チームを圧倒した。U14県トレBには、身体能力の高さで押される場面もあったが、徐々に押し返した。3ブロックには、終始優位にゲームを進められた。</p>			
キーファクター							

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	4月22日 : ~ :																																																																																
担当	本田 裕二		会場	江戸川大学グラウンド																																																																																
参加スタッフ	本田、吉野、石橋、豊島、中村、木村																																																																																			
テーマ																																																																																				
<b>指導方法</b>																																																																																				
選考	<p>今回は、5月からの地区トレセン交流会へのメンバーを選考。          県トレセンのトップチーム選考は、5月に行うがその選考会に参加させた方が          良い選手とバックアップを選考する。バックアップが交流戦へ参加。</p> <p>選手を解散させた後、簡単に選考のためのスタッフミーティングを実施。          その後、スタッフも解散します。</p>																																																																																			
参加選手	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">Aチーム</td> <td style="width: 10%;">FW</td> <td style="width: 15%;">武井</td> <td style="width: 15%;">深山</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>MF</td> <td>岸野</td> <td>劔持</td> <td>野見山</td> <td>川東</td> <td>佐藤</td> <td>渡辺</td> </tr> <tr> <td>Bチーム</td> <td>DF</td> <td>今村</td> <td>竹田</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>FW</td> <td>川上</td> <td>椎橋</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>MF</td> <td>村越</td> <td>新行内</td> <td>古屋</td> <td>大出</td> <td>渡部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Cチーム</td> <td>DF</td> <td>宮下</td> <td>川村</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>FW</td> <td>木本</td> <td>中上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>MF</td> <td>谷田</td> <td>本吉</td> <td>気田</td> <td>永藤</td> <td>吉田</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>DF</td> <td>高橋</td> <td>桑原</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>GK</td> <td>田中</td> <td>鈴木</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				Aチーム	FW	武井	深山						MF	岸野	劔持	野見山	川東	佐藤	渡辺	Bチーム	DF	今村	竹田						FW	川上	椎橋						MF	村越	新行内	古屋	大出	渡部		Cチーム	DF	宮下	川村						FW	木本	中上						MF	谷田	本吉	気田	永藤	吉田			DF	高橋	桑原						GK	田中	鈴木				
Aチーム	FW	武井	深山																																																																																	
	MF	岸野	劔持	野見山	川東	佐藤	渡辺																																																																													
Bチーム	DF	今村	竹田																																																																																	
	FW	川上	椎橋																																																																																	
	MF	村越	新行内	古屋	大出	渡部																																																																														
Cチーム	DF	宮下	川村																																																																																	
	FW	木本	中上																																																																																	
	MF	谷田	本吉	気田	永藤	吉田																																																																														
	DF	高橋	桑原																																																																																	
	GK	田中	鈴木																																																																																	
見学	上野																																																																																			
キーファクター																																																																																				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	5月27日 9:00～13:00
担当	本田 裕二		会場	グラスポ
参加スタッフ	本田、吉野、石橋、木村			
テーマ				
指導方法				
<p>選考ゲーム 対 市立船橋</p> <p>① FW 吉田 田野 0-1  MF 三輪 佐藤 糸久 工藤 失点:1対1の対応悪く  DF 二瓶 森田 金子 林  GK 海老根</p> <p>② FW 小野 田野 2-1  MF 栗島 中山 斉藤 平井 失点:左サイド突破されて  DF 藤井 西村 金子 田中 得点:①オーバーラップから  GK 水田 ②オーバーラップから</p> <p>③ FW 吉田 中上 1-2  MF 糸久 村越 気田 工藤 失点:①右サイド突破されて  DF 二瓶 西村 森田 林 ②左からクロスを入れて  GK 海老根 得点:CKから</p> <p>④ FW 小野 平井 2-1  MF 中山 栗島 佐藤 三輪 失点:クロスが直接  DF 藤井 田中 金子(森田) 斉藤 得点:①ドリブルから  GK 水田 ②クロスから</p> <p>* 前線からの守備が機能せずサイドを簡単に突破されての失点が目立つ。  攻撃ではボールを持てる選手が多く、特に藤井、栗島が得点に結びつけた。</p>				
キーファクター				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	7月16日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	東京学館高校
参加スタッフ	本田、石橋			
テーマ				
指導方法				
<p>選考ゲーム 対 東京学館</p> <p>① FW 吉田 中上 2-0  MF 栗島 佐藤 気田 糸久 得点:①CKから金子  DF 二瓶 森田 金子 永藤 ②カウンターから吉田  GK 水田</p> <p>② FW 浮田 田野 1-0  MF 剣持 谷田 岡野 吉川 得点:①浮田  DF 二瓶 森田 金子 石出  GK 海老根</p> <p>③ FW 浮田 中上 1-0  MF 谷田 剣持 岡野 永藤 得点:①浮田  DF 栗島 気田 佐藤 糸久  GK 水田</p> <p>④ FW 中上 1-0  MF 栗島(田野) 気田(石出) 得点:①田野  吉川 谷田 佐藤 糸久  DF 二瓶 森田 永藤  GK 海老根</p> <p>* 終始ゲームを支配し、選手個々の持ち味が発揮されたゲームであった。  守備機会が少なかったがチームとしての守備には課題を残した。</p>				
キーファクター				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	8月9日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	フクダ電子スクエア
参加スタッフ	吉野、豊島、石橋			
テーマ	JEFカーニバルへの参加			
指導方法				
<p>ゲーム 対 ベガルタ仙台</p> <p>前半 FW 浮田 永藤 1-2  MF 栗島 佐藤 谷田 村越 得点:①永藤  DF 藤井 森田 金子 大出  GK 田中</p> <p>後半 FW 木本 中上 0-1  MF 劔持 気田 岡野 吉川  DF 二瓶 高橋 竹田 石出(森田)  GK 海老根</p> <p>対 フォルトゥナ</p> <p>前半 FW 浮田 永藤 4-0  MF 栗島 佐藤 谷田 村越 得点:金子、永藤2  DF 藤井 森田 金子 大出 浮田  GK 田中</p> <p>後半 FW 木本 中上 3-0  MF 劔持 気田 岡野 吉川 得点:中上、村越2  DF 二瓶 高橋 竹田 永藤(村越)  GK 海老根</p>				
キーファクター				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	9月18日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	八幡球技場
参加スタッフ	本田、吉野、石橋、豊島、木村			
テーマ				
指導方法				
<p>トレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウォーミングアップ ランニング、ストレッチ パス&amp;コントロール</li> <li>2. 4vs2</li> <li>3. 5vs5 6ゴールゲーム</li> <li>4. 9vs9ゲーム ゲームの中で前線からの守備を徹底</li> </ol> <p>報告事項</p> <p>トレーニングでは、ウォーミングアップから集中して行うことが出来ない。 ゲーム形式に近づいてくると集中してくるが、感覚的なプレーが多く、 また、自分のやりたいプレーに終始し、守備の意識に欠ける。 個々の持ち味や特徴は、大変素晴らしいものがあるので、ゲームを行う上で 必要なことも身につけてほしいと感じた。</p>				
キーファクター				



## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	9 月 23 日      :      ~      :
担当	本田 裕二		会場	順天堂大学
参加スタッフ	本田、吉野、石橋、豊島、木村			
テーマ	関東リーグ第1節			
指導方法				
<p>関東リーグ第1節</p> <p>vs東京      0-6 前半0-4 後半0-2</p> <p>立ち上がりより東京都のパスの精度の高さ、パススピードの速さに圧倒され千葉県は何もできないまま4失点し前半を終了した。  千葉県は、ボールを持てばドリブルに終始し、常に数的不利な状況でボールを奪われる。奪ったボールも、ボールを持つことから始まるので、すぐに奪い返される。良い状態でボールを持っても、パスの選択肢がないので突破することができない。後半に入っても、改善されないまま失点を重ね終了してしまった。</p> <p>課題</p> <p>ドリブルやボールを持つ技術は高い選手が多い。  パスも出せるボールの持ち方やカバーリングしてる相手を見ながらパスかドリブルかの判断力。  パスの精度、スピード。  1対1の守備とチャレンジ&amp;カバー</p> <p>話をすれば選手も同様のことを感じているようなので次節に向けて改善したい。</p>				
キーファクター				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	10月23日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	八幡球技場
参加スタッフ	本田、吉野、石橋			
テーマ				
指導方法				
<p>トレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウォーミングアップ ランニング、ストレッチ パス&amp;コントロール</li> <li>2. 4vs2</li> <li>3. 5vs5 6ゴールゲーム</li> <li>4. 9vs9ゲーム ゲームの中で前線からの守備を徹底</li> </ol> <p>報告事項</p> <p>第1節の関東リーグ及びトレーニングのメンバーと異なる選手を招集したので前回と同様のトレーニングを実施した。          守備においては、マークの確認も甘くアプローチが遅くなる場面が多い。          ボールに対するプレッシャーも緩くなり、個々のドリブルで打開できてしまう。          そのため、守備だけでなく前節の攻撃面での課題も改善されない。</p>				
キーファクター				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	10月28日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	順天堂大学
参加スタッフ	本田、吉野、石橋			
テーマ	関東リーグ第2節			
指導方法				
<p>関東リーグ第2節</p> <p>vs埼玉      1-5 前半1-2 後半0-3</p> <p>第1戦より浮足立つことなくゲームに入ることが出来たが、ミスから失点んしてしまう。その後は、一進一退のゲーム運びでTOPの守備から得点に結び付け同点に追いつくが、直後に再び失点してしまう。</p> <p>後半に入り、守備の対応の悪さから失点を重ね、攻撃でもボールを奪われることが多く失点に繋がってしまう。</p> <p>東京戦でのパスの精度の高さ、パススピードの速さを経験したにも関わらず、その経験を生かした守備の準備や攻撃でのパスの精度やスピードを千葉県は実践することができなかった。</p> <p>課題</p> <p>第1戦でのドリブルとパスの選択肢を持ったプレーという課題は改善されることが出来なかった。</p> <p>引き続き取り組んでいく必要がある。</p> <p>守備においては、1対1の対応やチームとしての守備理解に課題がある。</p>				
キーファクター				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	11月20日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	
参加スタッフ	本田、吉野、石橋			
テーマ				
<b>指導方法</b>				
<p>トレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウォーミングアップ ランニング、ストレッチ パス&amp;コントロール</li> <li>2. 4vs2</li> <li>3. 6vs3 → (発展)6vs3+3 ラインゴールゲーム</li> <li>4. 9vs9ゲーム 幅広く観ながら展開できるようにする</li> </ol> <p>報告事項</p> <p>攻撃方向を自分たちで限定してしまうことなく、相手を観ながらピッチ全体を視野に入れてボールを動かしていくことをテーマにトレーニングを実施。</p> <p>選手は、理解しながらトレーニングできたが、ゲームにおいて、ドリブルに入ると視野が狭くなり選択肢が少なくなってしまう。</p>				
キーファクター				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	11月25日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	順天堂大学
参加スタッフ	本田、石橋			
テーマ	関東リーグ第3節			
指導方法				
<p>関東リーグ第3節</p> <p>vs 茨城      1-1 前半1-1 後半0-0</p> <p>立ち上がりから落ち着いたゲーム運びで自分たちの時間を作りながらゲームを進めるが相手のドリブルから失点してしまう。しかし、ボールを動かしながらゲームを進めることができるようになり、コンビネーションから得点し同点に追いつくことができた。</p> <p>その後は、前線からプレッシャーをかけることができず、一進一退のゲーム展開となってしまう、失点こそなかったが追加点もあげることができなかった。</p> <p>課題</p> <p>当初からの課題であるパススピード、ピッチ全体を観ながらのゲーム展開、TOPからの守備には継続して取り組む必要があると感じた。</p>				
<p>キーファクター</p>				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	12月1日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	幸町第二中学校
参加スタッフ	本田、石橋、木村			
テーマ	千葉県トレセン大会(1日目)			
指導方法				
<p>千葉県トレセン大会(第1日)</p> <p>vs 東京中体連選抜U14      0-0 前半0-0 後半0-0</p> <p>個々の持ち味であるドリブルには魅力を感じるプレーもあったが、多用しすぎてゲーム展開を遅くし相手を崩すことができない。また、ピッチ全体を広く観ながらプレーできていないので常に密集した中でのプレーが多かった。</p> <p>vs 埼玉東部トレセン      3-2 前半1-1 後半2-1</p> <p>1試合目の反省からボールを動かしながらドリブル突破を図れるところを探すようになり、好機を得点に結びつけることができるようになった。 依然として守備には課題もあるし、ボールを動かしながらのゲーム展開もスムーズにプレーできるところには至っていない。</p> <p>課題</p> <p>2日連続でゲームができ、メンバーも大きく変わらないので、パスとドリブル、そして守備に課題をもち明日につなげたい。</p>				
キーファクター				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	12月11日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	八幡球技場
参加スタッフ	吉野、石橋			
テーマ				
指導方法				
<p>トレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウォーミングアップ ランニング、ストレッチ パス&amp;コントロール</li> <li>2. 4vs2</li> <li>3. 6vs3 → (発展)6vs3+3 ラインゴールゲーム</li> <li>4. 9vs9ゲーム 幅広く観ながら展開できるようにする</li> </ol> <p>報告事項</p> <p>最終節に向けて選手選考も兼ねて行い選手のモチベーションアップも図った。 トレーニングでは前回同様に攻撃方向を自分たちで限定してしまうことなく、相手を観ながらピッチ全体を視野に入れてボールを動かしていくことをテーマにトレーニングを実施。</p>				
キーファクター				

## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	12月16日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	下宿第三運動公園サッカー場
参加スタッフ	本田、吉野、石橋			
テーマ	関東リーグ最終節			
指導方法				
<p>関東リーグ最終節</p> <p>vs 山梨      1-4 前半0-1 後半1-3</p> <p>今までの課題を考えながら自分たちの時間を多く作ろうとゲームを進める。 拮抗した時間が続いたが、終了間際に奪われてから失点してしまう。 後半も立ち上がりから失点を重ね1点を返すに留まった。</p> <p>課題</p> <p>関東リーグを通じて選手は様々な経験をすることができたと思う。 個々のプレーが通じたところ、通じなかったところ。 1勝も挙げることができなかったことに関し、監督の責任は大きいですが、 勝利に結びつけるために何が必要なのか、選手自身も考えるきっかけになって欲しいと思う。</p>				
キーファクター				



## 2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ	U-15	日時	12月2日 : ~ :
担当	本田 裕二		会場	大椎中学校
参加スタッフ	本田、石橋、吉野			
テーマ	千葉県トレセン大会(2日目)			
指導方法				
<p>千葉県トレセン大会(第2日)</p> <p>vs 千葉県トレセン      4-4 前半4-0 後半0-4</p> <p>DFラインからボールを動かすことができ、ピッチ全体を観ながら相手を崩すことができ、開始早々から得点を重ね前半を4-0で終えた。選手たちもボールを動かしながら相手の状況を観て崩していくことの利点を体感したようである。</p> <p>後半は、大幅にメンバーを変更したこともあるが、立ち上がりからリズムを作れずセカンドボールや奪ったボールの処理を誤り、ゲームの中で修正もできずに失点を重ねてしまった。</p> <p>vs 千葉県中体連選抜      0-4 前半0-3 後半0-1</p> <p>1試合目よりプレッシャーも早くなり、ボールを動かす意識はあったが相手のアプローチの速さから思うようにボールを動かせなくなり奪われることが多くなった。</p> <p>ボールを奪ってからも、保持している時間が長く奪い返されることが多くなる。</p> <p>守備では、準備が悪くリスタートからも失点を重ねた。</p> <p><b>課題</b></p> <p>プレッシャーの中でもボールを動かせるようになることが大切である。</p> <p>そのために、ボールが来る前から周囲を観ておく、準備しておくことに課題が残る。守備においても同様の課題が残った。</p>				
キーファクター				